

県外派遣報告書

審判員名	竹澤 友美	所属	ミニ
大会名	平成28年度 国民体育大会関東ブロック大会		
期間	平成28年8月20日(土)～平成26年8月21日(日)		
会場	山梨県富士北麓公園体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月19日(金)	審判会議		
8月20日(土)	一回戦・講義	山梨県富士北麓公園体育館	
8月21日(日)	準決勝・決勝	山梨県富士北麓公園体育館	
審判会議・講義内容			
<p>渡邊整氏: 国体本大会への出場枠1つを目指している選手を正しいバスケットボールへ導き、オリンピック選手を鍛え、育てる任務がある。公平公正に試合を進めて欲しい。この中から1人でも多くのS級審判員が育つことを望んでいる。</p> <p>・判定について: 1つ1つを見極めと判断をして判定してほしい。笛を吹くとは正しい方向へ進めるためであり技術、ベンチ、選手の理解を深め判定に活かすこと。良いアングル(良い角度)、良い視野で選手の動きにあわせて視野を確保する為に動くことがAlways Movingであるように、4原則はそれぞれが関連している、目的にならないようにしかし、徹底して行いブラインド、動きながらの判定をなくす。このことにより目と耳の情報から考えて感性を磨いてほしい。</p>			
<p>北島寛臣氏: 自分の経験からS級になるまでのお話をいただいた。</p> <p>・覚悟を決めて、なりたいなあではなく、なると決めて具体的に行動する。バスケの理解をして、選手やベンチの意図をコーチをしながら勉強したことが審判のレベルアップにつながった。また、ゲームを進めていく上でT・Oとの連携がとても重要であると感じている。大切にしながら進めていきたい。</p>			
<p>山崎人志氏: 強い笛を吹き、声を使ってコーチ、選手と話したりコールの時も声で伝えること、レポートの際は強くすばやい立振舞いを目指して欲しい。</p> <p>・新しい用語の説明がありました。</p>			
実技			
担当試合	期 日	平成26年8月20日(土)	成年女子
	対戦カード	栃木県 VS 群馬県	副審
	相手審判	丸山淳 氏 (山梨県)	
ミーティング内容		主任	関口知之氏 (日本協会)・武藤陽子氏(茨城県)
<p>インサイドのポジションを取る際のオフenseの手の使い方について判定して良いものがあった。視野の外からのスクリーンはどうだったか。</p>			

講義内容

関口知之氏(日本協会)

トップレフリーは突発的な出来事にも適切で早い対応ができる。処置の順番を間違えずに1つずつ進めることが大切である。

- ・ゲームマネージメント・・・ファウルをファウルとしないようなイメージ
- スタンダードを示すことでゲームをコントロールすることへの変化
- ・プレゲームカンファレンス・・・内容を具体的にし(ラインの分担等)2人(3人)で協力する。
- ・プライマリーは任せる・・・1つの試合に2人(3人)で1つになって取り組む
- ・ルールやメカニクスの変更については、その根本になるものを理解する。

山田巧氏(日本協会)

OA級の義務・・・S級を目指す、地元の若手を育成する、バスケットの発展を担う

○自分とS級との違い・・・自分をS級と同じように試合にのぞめるか。S級と吹くときに構えてしまうようでは副審のままS級に負けてしまう。もがき分析して自分でどうするか考える。

○審判力の要素

・判定力(ゲームを先行する)・・・①ブロック/チャージ:立っているだけはDefではない②ポスト:OとDのポジション取り③ピックアンドロール:動くのは全部ダメか④ハンド・チェック⑤最終ピリオド残り2分

・分析力(最終的には自分で吹いたときに感じる事)・・・①コーチの戦術②選手の個人能力③Play style④時間と得点⑤最終ピリオド残り2分(接戦でミスは許されない)

○メンタル・・・①コーチの心理(不満・抗議(逃げずに簡潔に答え説明責任を果たす)②選手の心理③観客の心理(反応)④最終ピリオド残り2分(競っている試合を楽しむことが自分を高める)

○表現力・スタイル・・・①コートに入るとき②トスアップ・走り方③笛の吹き方・声・レポート④髪型・ズボンの長さ(見られている)

○環境S級への情熱→日々の仕事にプラスされていく、職場や家の理解を得られるように。

	期 日	平成26年8月21日(日)	少年女子	
担当試合	対戦カード	千葉県 VS 神奈川県		R
	相手審判	U1:和嶋陽一氏(東京都) U2:田中翔馬氏(山梨県)		

ミーティング内容 主任 山田巧氏(日本協会)・稲葉威氏(本部)

- ・プライマリーエリアの意識を持つ。
- ・自分の前から始まったPLAYについては最後まで判定する。
- ・Cでドライブに対しては下がるより中に入ってスペースを捉える。

全体の感想

今大会は関東・東京のA級研修を兼ねており、日本協会講師の方々から講義、講評をいただける機会であるため、毎年派遣していただけることに大変感謝しております。ありがとうございます。関東ブロック大会の2日目に初めてレフリーの割当をいただき、1試合を通して自分の目の前のことはもちろんのこと、試合に関するすべての情報を常に把握し試合を進めることの難しさや大変さを改めて実感し、今までレフリーの方に任せてしまっていたことがたくさんあったことに気づきました。今後は、いつでもどんな試合でも自分もきちんと把握し、審判として務められるように努力してまいります。最後になりますが今大会では、山梨県の皆様に大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。